

小5

中学受験 算数

ポイント

名前 _____

旅人算

____ 月 ____ 日

まとめ 旅人算

速さ 標準

① 向かい合うときは速さの和、追いかけるときは速さの差を使う ② 道のり ÷ 速さの和(差) で時間がわかる ③ 線分図やダイヤグラムで場面を図にする

例

(1) A地点とB地点は1200mはなれている。分速60mと分速40mで向かい合って出発すると、出会うのは何分後？

2人は1分間に合わせて $60 + 40 = 100(\text{m})$
ずつ近づく

$1200 \div 100 = 12(\text{分後})$

(2) 420m先を分速50mで歩く人を、分速80mで追いかけると、何分後に追いつく？

1分間に $80 - 50 = 30(\text{m})$ ずつ差がちぢまる
 $420 \div 30 = 14(\text{分後})$

(3) まわり600mの池を、反対方向に分速70mと分速50mで同時に回ると、何分ごとに会う？

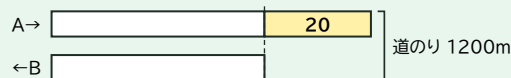
反対方向は速さの和で近づく

$600 \div (70 + 50) = 5(\text{分ごと})$

(4) A・B2人が出会ってから、往復して2回目に出会うまで

1回目に出会うまでに2人が進んだ道のりの合計は、道のり1つ分

2回目に出会うまでの合計は、道のり3つ分になる



向かい合うときは、速さの和で近づく。道のり ÷ 速さの和 = 出会う時間

追いかけるときは、速さの差でちぢまる。差の道のり ÷ 速さの差 = 追いつく時間

池のまわりでも、向かい合う(反対方向)は和、追いかける(同じ方向)は差

往復して2回目に出会うまでの道のりの合計は、1回目の3倍(道のりの3倍)になる

